



山梨ジュエリーを世界にPR

～バンコク宝石・宝飾品フェアへ出展～

山梨県水晶宝飾協同組合(小玉実理事長 組合員 181 社)では、山梨のジュエリーを世界にPRするため、9月3日～11日にタイのバンコクで行われた「第62回バンコク宝石・宝飾品フェア」に参加、組合から12社が出展した。このフェアはアジア最大級の宝石・宝飾品フェアのひとつで、永年アジアと世界各地のジュエリー業界を繋ぐ役割を果たしてきた。組合員が出展・参加したのは、昨年に引き続き2回目となる。

今回の出展は、やまなし産業支援機構の山梨ジュエリーアルチザンプ

ロモーション事業の支援を受け、日本の宝飾品のアジアでの需要拡大を追い風に、国内屈指の宝飾業の集積地「山梨ジュエリー」のアルチザン(職人)たちの高い技術力を世界に売り込むことに力を入れた。また、プレス発表に現地の有名俳優を登用しSNSでフェアの話題を拡散するなど趣向を凝らしたPRも



山梨ジュエリー出展ブース

山梨県水晶宝飾協同組合

行い、世界130ヶ国からのバイヤーなど約14,000人が訪れた。

山梨県は日本一の宝飾産地として約30%の製造シェアを誇っているものの、経済環境の変化により宝石・貴金属の国内市場は縮小している。そうした中で、県内宝飾業の海外展開を推進するために、新たな販路開拓先として世界の主要な宝石と宝飾品の集積地となっているタイをターゲットとした。また、フェアに先立って現地百貨店(バンコク伊勢丹等)で開催した産地ブランド「koo-Fu」の展示会では、あらかじめ現地の富裕層13,000人にDMを発送、来場者の宝飾品の嗜好や価格などのアンケート調査を行い、タイにおけるジュエリーのニーズ調査も同時に実施した。

今回出展した組合員からは、「山梨の技術やデザイン性などが高く評価され、海外販路への可能性を実感することができた。これからも山梨のジュエリーを積極的にPRし新たな販路拡大につなげていきたい」とコメントした。



組合員商談の様子